

「新たな情報をみんなの手に」をキャッチフレーズのもと、患者さま及びご家族、来院される皆さまに対して「KMCつうしん」を発信しています



何をする部署ですか？

放射線科は、大別して撮影検査部門、核医学検査部門、放射線治療部門の3部門で構成されています。

撮影検査部門では、一般撮影装置4台、歯科撮影装置2台、透視撮影装置1台、CT装置2台、

MRI装置2台、血管撮影装置5台(手術室1台、IVR-CT1台)、ポータブル撮影装置3台、ポータブル透視撮影装置1台が稼働しています。

核医学検査部門ではRI検査装置が2台、放射線治療部門では、リニアック装置1台、ラルス装置1台が稼働しています。

業務は、診療放射線技師のみならず、受付事務、CT・MRI担当看護師、RI担当看護師、放射線治療担当看護師、血管撮影室担当看護師、血管撮影室担当臨床検査技師、血管撮影室担当臨床工学士等とチームを組んで行っています。



血管造影風景



RI検査風景



CT検査風景



放射線治療機器

一般撮影検査

X線は体の組織や臓器によって通過しやすさ（透過性）が異なります。この差を利用して画像を作り、診断を行います。放射線検査の中では最も被ばくの少ない検査です。胸部や腹部・骨を主に撮影します。

透視撮影検査

X線を利用して身体の中を透視しながら撮影する検査です。脳外科領域の水頭症術後のバルブ圧調整や腸閉塞チューブの確認、バリウムやヨード系造影剤を使用した胃や腸の消化管系の造影検査や、外科や泌尿器科系の造影検査を行っています。





CT検査



X線を照射して臓器の形態的な異常を見つける検査です。X線を360度全方向から照射することで、人体を輪切りにした画像を撮影でき、体内の断面が、白黒写真のような画像となっていくつも写し出されます。



MRI検査



X線を使用せずに磁石と電磁波の力によって人体の色々な断面を写真のように撮影し、身体の中を見ることが出来る画像診断です。X線を使用しないため、放射線被ばくの心配がありません。MRIでは頭から足先まで全身の様々な部位の検査を行うことができ、組織の形を描出するだけでなく、病気の広がりや程度の判断にも使用されます。



血管造影検査



カテーテルと呼ばれる細い管を血管内に挿入し、そこから造影剤を注入し、各臓器につながっている血管を映し出す検査です。



RI検査 (核医学検査)



微量の放射性医薬品を体内に投与し、その放射性医薬品が臓器や体内組織などに集まる様子を画像化し、疾病の診断、病期や予後の確認、治療効果の判定などに有用です。



放射線治療



手術、抗がん剤とならぶがん悪性腫瘍(がん)治療の柱の一つで、患者さんへの肉体的負担が少なく、しかも機能・形態の温存を可能にする優れた治療法です。放射線単独、あるいは手術や抗癌剤と組み合わせた治療など、疾患に応じて様々な治療方法があります。



定期的な勉強会などありますか？

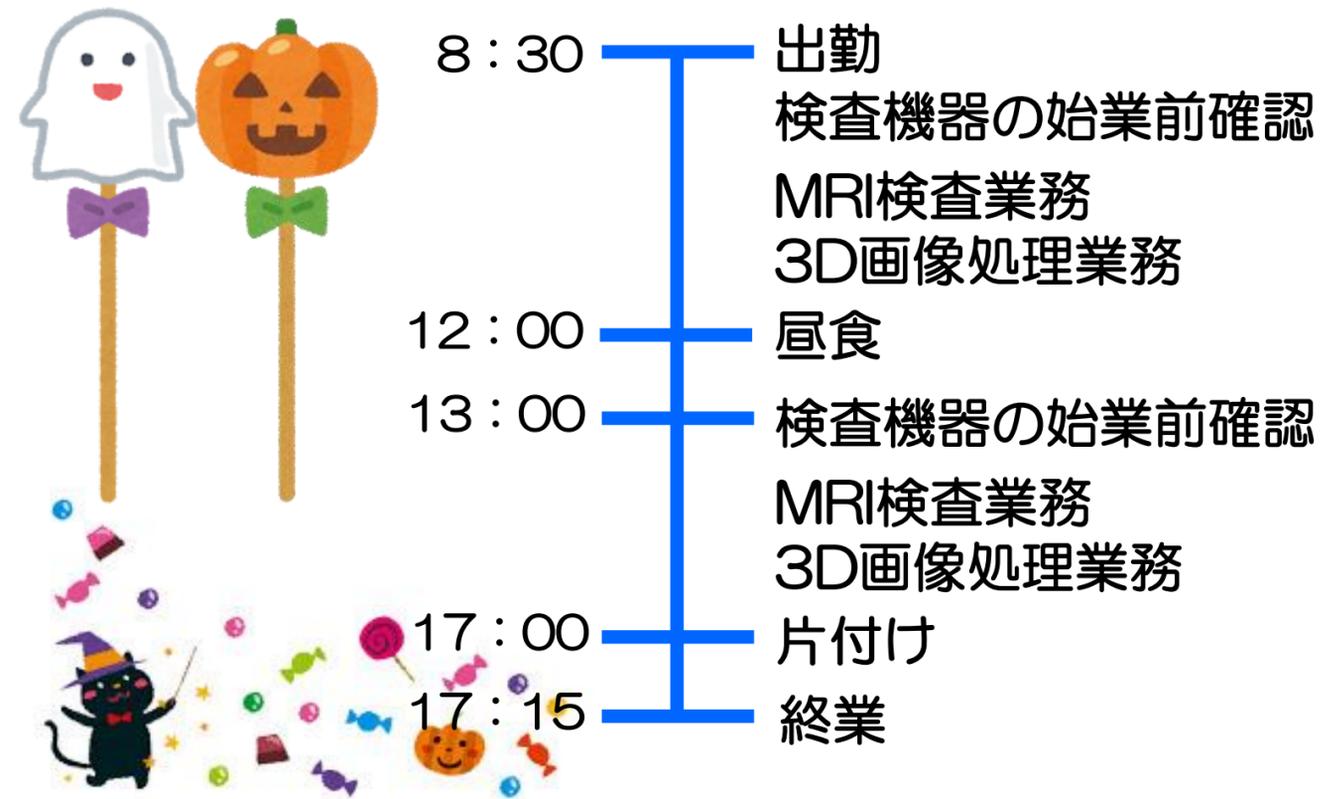
放射線科内で月に一度、ローテーションで症例検討会を行っています。これは、各月毎の担当者が日常業務で気になった症例について学習及び発表し、スタッフ全員で知識の向上に努めています。

その他には鹿児島県内外の診療放射線技師会主催の部門別勉強会やメーカー主催の勉強会等にも積極的に参加しています。



放射線技師さんの一日

技師さん2名の1日と副診療放射線技師長の休日を紹介します



★MRI検査室勤務

★5年目

★趣味：
サッカー・フットサル



私は主に第1・2MRI検査室で外来や入院患者さん、また救急患者さんのMRI検査に携わっています。手が空いているときは主に、3D画像処理を行っています。終業後は月に何回かですが、病院の方々とフットサルやバドミントンなどをして汗を流しています。初心者の方も多いのでぜひ興味のある方はご参加ください。



★RI検査室勤務

★6年目

★趣味：
家族サービス



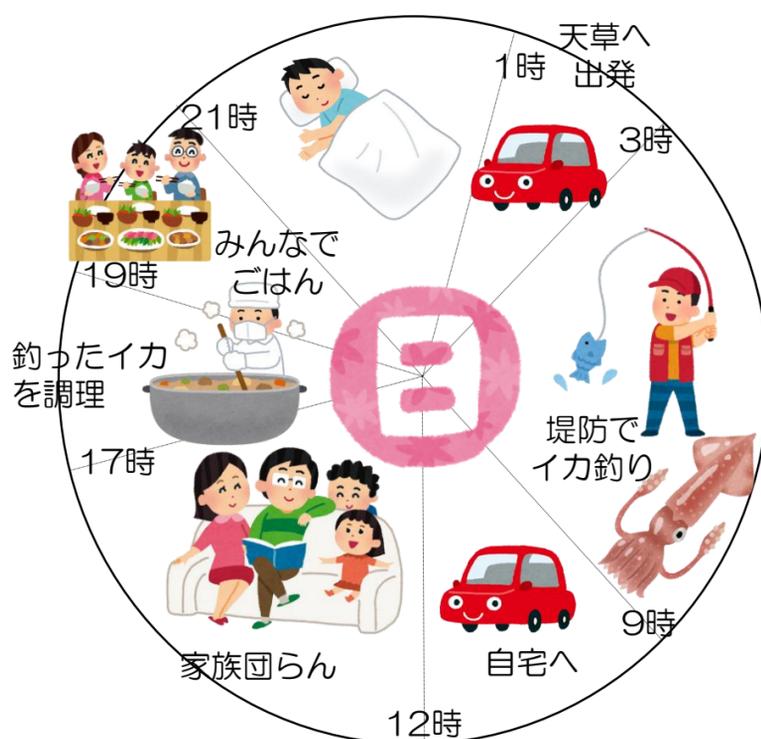
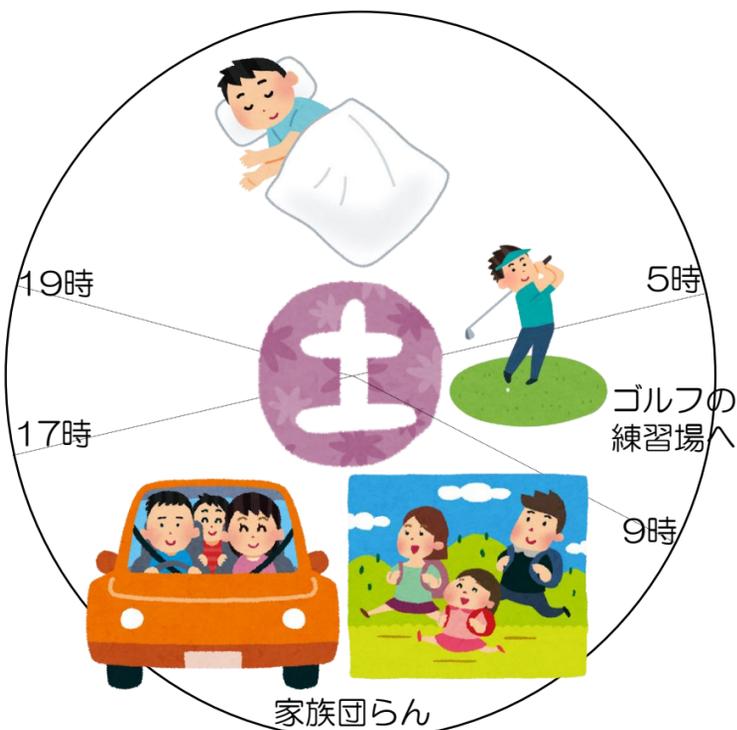
私は、主にRI検査室（17番）で検査に携わっています。RI検査室では心筋シンチグラフィなどの検査を行い、患者さまの診断に役立てるように努めています。

副診療放射線技師長さんのとある休日

私は今年より鹿児島に赴任しました。
週末は家族に会うため地元の熊本へ帰ります！！



業務終了後：熊本に帰宅（経費削減の為、水俣まで下道）



4:30:起床 5:00:鹿児島へ
7:00:宿舎到着し出勤へ



部署のアピールをお願いします！！

放射線科は今年4月より逡信病院の機能移転で人員やIVR-CT装置も増え、より多くの症例や検査に対応できるようになりました。

また、医療被ばくの低減や医療被ばくに対する患者さまからの相談にも力を入れ、平成18年に全国で3番目となる『医療被ばく低減施設認定』を取得し、平成29年に更新のための訪問審査を受け、継続した医療被ばく低減の取り組みが評価され、認定を更新しました。

若いスタッフが多く未熟なところもありますが、親切な対応と思いやりの気持ちをモットーに良質な検査・治療を心掛けています。日頃より医師や看護師の方々のご協力を頂くことも多く、ご迷惑をおかけしますが、これからも多くの患者さまの病気の診断・治療に貢献できるようにスタッフ一同頑張っていきますので今後とも宜しくお願いします。

放射線のことわからないことなどありましたらお気軽にスタッフまでお尋ねください。



文責：本村診療放射線技師長